

ほっとミーティング（令和8年1月）のアンケートに記載された質疑・意見とその回答

質疑・意見の内容	回答
議員定数減に伴う公費の振り分けは。	令和8年度予算は、12月から議員定数が24人となることを前提に計上されますので、議員報酬等の予算に余剰は生じないものと思われます。 市全体の予算としては、議員が1人減ることで削減される経費分を、議会費以外の財源として活用できることになります。
まいづる生活応援商品券は、全市民に配付できなかったのか。	12月定例会においても、類似の質疑があり、市は、全員一律ではなく、低所得者への商品券の配布、子育て世帯への現金給付、水道基本料金の無料化とプレミアム付商品券の購入の組み合わせで、全市民に支援することを選んだとの答弁でした。 これらの議論等を踏まえて、補正予算を全員賛成で可決しました。
不登校の現状を考えると、もっと議会で追求していただきたい。	不登校の問題については、議会においても、一般質問や市民文教委員会で、たびたび取り上げられています。 ご意見も踏まえて、今後も確認・検討してまいります。
市に観光全体をまとめる部署がない。	舞鶴市では、観光振興課が観光全体を所管し、施策を推進しています。
医療におけるたらい回しでなく、早急に1箇所でも治療ができないのか。市の意向が全く見えない。図書館よりも医療を優先すべきでは。	地域医療の再編に関する議論の経過や市の考えは、舞鶴市のホームページで確認することができます。 施策の優先順位については、様々な考えがあると思いますが、ご意見として承ります。
高齢者の住みやすいまちづくりについて、各自治会での老人クラブの育成を進めてほしい。年々クラブ数が減少し、会員も減っている（自治会自体の解散もあり、コミュニティの消滅の心配がある）。各議員で老人会に入っていない方は、ぜひ入会をしてほしい。	老人クラブの現状は承知しており、今回の意見交換のテーマとしておりますとおり、誰もが住みやすいまちづくりが理想であると考えます。 老人会への入会につきましては、議員に周知します。
交通弱者への配慮の在り方（タクシーの無料券の金額を1チケット500円に下げるなど）を検討するべき。	市議会においても、過去に同様の一般質問が複数回ありました。 これまでの市の答弁では、現在の制度を変えるつもりはないとのことですが、ご意見も踏まえて、今後も確認・検討してまいります。

※ アンケートに記載いただいた内容のうち、市の取組への問い合わせに関するものは、市へ伝えることとし、掲載を省略しています。